

大宜味村

農業委員会だより



耕作された元気な畑から村の未来が見えます。

農家の意見が反映される農業施策を!

7月30日、役場第2会議室において、「平成25年度農業委員と農家との意見交換会」が開催され農家20名ほどの参加があり、意見や要望、提案等活発な意見が交わされた。

村の農業振興の課題は山積みであるが、これまで村へ建議・要望を提出した中からイノシシ網の交付、農家担い手育成のための青年就業支援金での農家育成、土地改良区内農道整備等の成果が上げられる。今年降雨が少ないこともあり、農家の要望は農業用水の確保の意見が多数であった。

副村長も最後まで参加していたことから、農家の切実な声は届いたものと考えられる。今回の意見交換会における決議は、「平成25年度建議・要望書」として沖縄県知事、大宜味村長へ提出することとなる。

照屋まり会長は、「村の農業振興施策へ農家の声が反映されるよう村に強く訴えたい、地区の代表である農業委員を中心に村産業振興課と連携して課題解決に向けて取り組みたい」と話していた。

平成25年度 建議・要望書

- 一 鳥獣害対策強化
- 二 自然災害対策の強化ハウス支援について
- 三 散水車の配置について
- 四 6次産業化を見込んだ村の販売力としての販路拡大について
- 五 堆肥の補助について
- 六 シークワサーの安定生産にむけて
- 七 土地改良区の再整備について
- 八 灌漑設備の設置について

耕作放棄地農地の再生事業受付中!

農業委員会では、農地法に基づき農地パトロールと共に、村内農地一筆一筆の現況調査を行い、今回、耕作放棄地農地所有者138人の地主へ、「今後の農地の利用について」の意向調査をおこなった。

整備された土地改良区は、国の補助金等が投入されていることから、地主には耕作することが義務付けられているが、現状として、高齢化、他市町村在住等耕作することが困難な方が多いのが実情である。

農地は、子や孫に残したい大きな財産であり、村の財産でもあることを念頭に、農業委員会では「農地あっせん業務を活動の第1」としている。

農地の有効利用を図ることを目的に、村内の農業担い手へ農地を貸し、村の農業振興に理解してほしいと農業委員会では協力を呼びかけている。

耕作放棄地事業成果

平成20年度 放棄地面積	70ha
平成21年～25年 解消目標数値	30ha
平成21年～24年 解消面積	20ha
平成21年～24年 総事業費	76,585,465円
利用農家数	13農家
導入事業 (マンゴーハウス) 畑かん	鉄骨ハウス等2農家 大工又畑かん
組織立ち上げ (蕎麦工場プラウント)	大宜味村蕎麦 (雑穀類)生産組合 3農家組織
主要栽培作物	蕎麦・マンゴー・大根・生姜・さとうきび・野菜類

農地調整支援員 佐久本薫(サクモカオル)

沖縄県農業開発公社出向



9月から農地調整支援員として頑張っていきますのでよろしくお願い致します。住まいは塩屋でお世話になります。

- 事業名 「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業」
- ①対象農地：農地全体調査で耕作放棄地と判定された農地
 - ②受付期間：平成25年10月末
 - ③要件：平成25年10月までに農地の貸借契約をした農地
 - ④問い合わせ先：大宜味村農業委員会 電話番号：0980-443477
 - ⑤パンフレット：各字公民館へ配布

全国農業新聞

購読料：月額600円 年間購読7,200円 発行：毎週金曜日

「ふるさとがえり」上映会

今、「ふるさと」という言葉に、いったいどんな意味があるんだろう?

故郷?家族?帰るべき場所?それとも... 「都会に生まれたから、自分には故郷がない。」そんな言葉もよく聞かれます。しかし「ふるさと」という響きに、心のどこかが、ぼっと温かくなったります。私達は、やはりどこかに「心のふるさと」を求めているのではないのでしょうか。それは例えば、大切に想える人や場所との「つながり」のことなのかもしれない。 「ただいま」と言えて「おかえり」と言ってくれる優しい誰か。心地よい何処か。 あなたならどう思うでしょう。 そんな人生の宝物に出会える「ものがたり」です。 この映画は、現在の社会において、「地域社会とは何か?」「夢とは何か?」という大宜味村に重ねて見える映画だと思えます。 そこで村民に見ていただきたいと思えます。

「ふるさとがえり」実行委員

- ・大宜味村
- ・大宜味村教育委員会
- ・大宜味村農業委員会
- ・大宜味村青年団
- ・大宜味村区長会
- ・大宜味村婦人連合会
- ・大宜味村老人クラブ連合会
- ・大宜味村自治労働組合
- ・大宜味村農業壮青年部
- ・国頭地区行政事務組合大宜味分団

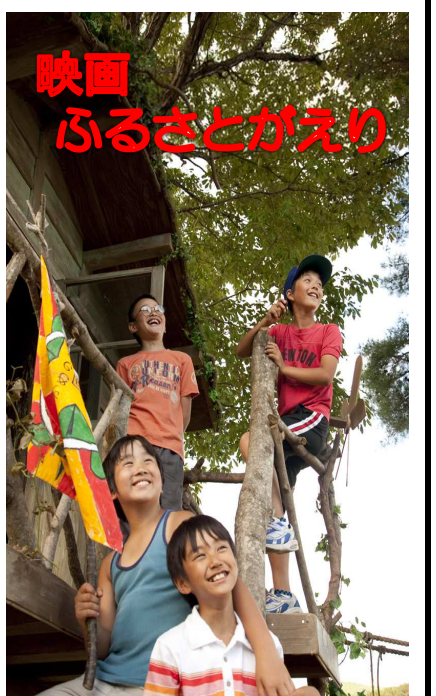
事務所 宮城久美子(農業委員会) 電話：0980-443477

実行委員会会長 大宜味村青年団 津波古 達功

副会長 大宜味村農業壮年部 園 大樹

入場料：大人 千円 高校生以下：招待券配布 幼稚園以下：入場無料

問合せ先 「ふるさとがえり実行委員会」



招待券

映画「ふるさとがえり」 上映日：H25年9月18日(水) 開演：午後7時00分 会場：村農村環境改善センター

第十四期 第二十四回総会議題結果報告(8月27日開催)

1、議題第五十二号 平成二五年度 建議・要望書について 1件

農業委員会活動風景

8・1調査 状況



放棄地なので、誰か耕作できる人にあっせんをしていきたいな～！！(幸也)



環境保全事業の取り組み

ひまわりの花畑ってきれいなね！



ひまわりを緑肥としての活用(環境保全活動)

赤土を全面被覆することにより赤土を外に流さない土壌作りをおこなっています。(平良幸也圃場)

(株)ブルーオーシャン 中田裕久社長の概要と工場の案内をしてくださいました。

大宜味村企業支援工業視察

平成25年8月27日(火)

平成25年8月27日(火) 総会の様子



ボトルに絵を描いて花瓶としての再利用



(株)オオバ 瀧上浩一社長の概要を説明してくださりました。

(株)村上農園 豆苗の説明をお願いしました。スーパーでは、「大宜味村育ち豆苗」で販売しています。



遊休地や耕作放棄地の有効活用として若い就農者等の相談が絶えない農業委員会です。

消防団員の活動の様子も出てくるので同じ団員として、気持ちがわかるわ～！！(by久子)



「ふるさとがえり」試写会 各種団体代表が参加しました。

